

令和4年度

# 事業計画書

公益財団法人岡山県産業振興財団

## I 令和4年度業務活動基本方針

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が全国各地に数次にわたって発出されるなど、国民の行動に制限が掛かり、企業活動はあらゆる面で停滞を余儀なくされました。秋には自粛効果で感染者数が減少し、ワクチン接種の進行によって収束に向かうのではと期待されましたが、変異株の出現等により先行きは未だ不透明な状況となっております。

また、令和4年2月にロシアがウクライナ領内に軍事侵攻した影響が、今後、エネルギー供給をはじめ原材料の調達困難や物流停滞、価格の高騰等につながることが懸念されます。

こうした不安定で混沌とした状況下での経済活動ではありますが、私ども財団では、県内の産業振興の担い手として、これまで蓄積したノウハウを生かしながら、県内企業の経営基盤の強化と発展に資するよう様々な事業を実施します。加えて持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指すSDGsの視点を地域経済の活性化につなげるべく、行政をはじめ他の産業支援機関や関係団体等と連携した取組を進めてまいります。

経営支援部門では、中小企業支援センターとして県内中小企業に対する総合的な支援体制とワンストップ相談窓口の機能強化を図るため、これまでプロジェクト推進部門が所管していた、小規模事業者を主な支援対象とする岡山県よろず支援拠点に移管し、その運営に取り組みます。併せて、中小企業の経営力の向上に資する事業を引き続き進めるとともに、デジタル化の推進や事業継続計画（BCP）の策定サポート、事業承継を機会とした成長支援など、企業の競争力強化を促進します。

起業予定者及び起業間もない者に対しては、知識習得の機会提供等を通じて発掘・育成に努めるほか、ベンチャー企業等の資金調達を支援し、新たな産業の芽を育てます。

また、展示会出展や商談会の開催を通じて、「食」に関する優れた製品を有する県内企業と百貨店等の仕入担当者（バイヤー）との商談の機会を提供し、販路開拓を支援します。

設備貸与事業においては、創業者、小規模企業者及び中小企業者等に対する設備導入支援

に引き続き注力いたします。

ものづくり支援部門では、世界的なカーボンニュートラルに向けた動きを県内企業のビジネスにつなげるため、専属のコーディネーターを配置し新製品開発や技術開発に取り組む企業を支援します。

岡山大学内に設置している「岡山県 企業と大学の共同研究開発センター」においては、専属コーディネーターが県内ものづくり企業と大学の連携を促進します。大学の知を活用することで、企業の課題を解決し、新産業・新事業の創出や中堅企業の成長に繋げてまいります。

また、取引商談会の開催、各種展示会への出展、個別あっせん等（オンライン商談会を含む）を通して県内受注企業の優れた加工技術等を広くPRし、新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大に努めます。加えて、7回目となる「おかやまテクノロジー展（OTEX）」では、オンライン展示会を同時開催し、県内外企業とのマッチング機会を創出するとともに、機械系ものづくりの道を目指す学生の来場を促し、地元企業の魅力を紹介する場を提供することで岡山での就労意欲の醸成を図ります。

さらに、加速するデジタル社会の中で、中小企業が自社のノウハウを守り稼ぐための知財戦略の策定をサポートします。

プロジェクト推進部門において、「岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点」では、民間人材ビジネス事業者と連携し、プロフェッショナル人材の活用による攻めの経営や生産性の向上を支援します。

「中小企業再生支援協議会」では、きめ細かに事業再生の相談に応じ、中小企業等の活力の再生を図るとともに、経営改善計画策定支援事業を通じて、経営改善計画の策定をより強力に推進します。

「事業承継・引継ぎ支援センター」では、事業承継問題に直面している中小企業等が抱える課題の解決に向けた適切な助言や情報提供及びマッチング支援等を行い、関係機関と

のネットワークも活用しながら事業譲渡や事業承継等への取組を促進します。

総務部門においては、産業人材の育成に関して、経営力向上や人材開発分野などの内容を反映し、経営者から若手社員までを対象とした階層別研修や、製造現場に必要な分析力や改善力を向上させるためのテーマ別研修を実施します。また、急速に進むデジタル化に対応するための人材育成に努め、意識の全体的な底上げやデジタルトランスフォーメーションの定着を図ります。さらには、先進企業で実習や技術者等を対象とした高度な技術研修を行うなど、企業ニーズに的確に応えてまいります。

グローバル人材の育成・確保を目指し、県等の支援制度を活用して海外留学する学生に対して留学先での交流や様々な実践活動を積極的に支援することで、グローバルな視点を持った意欲ある産業人材の育成を図ります。

一方、県内大学に在籍しているアジア人留学生を母国との懸け橋となるビジネス人材として育成するため、県内大学と連携し、人的ネットワークの構築、奨学金交付、インターンシップ等の事業を実施し、県内企業の海外展開を応援します。

また、外国人材の受入拡大に資するため、留学生と県内企業の交流会や就職支援セミナーを開催し、留学生と企業とのマッチングに取り組みます。

情報化支援については、働き方の変化に対応すべく I T 環境が日々進化している中、生産性向上、D X 推進につながる実践的な研修会をタイムリーに開催するほか、県内企業の情報や人材データベース等を提供するポータルサイトを運営し、県内支援機関と緊密な連携を図り、情報を共有しながら、有益な政策情報、セミナー情報、イベント情報等の発信に努めます。

令和4年度は、以上の業務活動基本方針に基づき、当財団の役職員全員が、県内中小企業・小規模事業者及び起業家を顧客とする中核的・総合的支援機関であるとの自覚を持ち、常日頃から他の支援機関をはじめ金融機関、大学等と連携を密にしながら、「頑張る中小企業の応援団」として引き続き県内中小企業の支援に総力を挙げて取り組んでまいります。

## Ⅱ 活力と創造性のある中小企業の育成（経営支援部事業）

中小企業等経営強化法に基づく認定支援機関である岡山県中小企業支援センターとして、県内中小企業の経営力の強化を図るため、他の支援機関と連携しながら、窓口相談、経営革新支援、創業支援、販路開拓支援、設備導入支援に取り組む。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響からの復活やポストコロナを見据えた支援を行うことで、中小企業の経営力向上や活力のある企業の育成を推進し、安定した事業の継続や雇用の維持・拡大を図り、中小企業の生産性向上、稼ぐ力の強化のための取組を後押しする。

また、今年度からはさらなる相談体制の充実を図るため、小規模事業者を中心とした来所やWEB型窓口相談を実施するよろず支援拠点の運営も行うことで、県内中小企業の利便性を高めたワンストップ相談窓口として中小企業支援に取り組む。

### 1 岡山県中小企業支援センターの運営

総合相談窓口の運営（県委託事業）（予算額：55,868千円）

中小企業等が抱える経営・技術等に関する幅広い課題に対して窓口相談に応じるほか、多様化している経営課題の解決のため、中小企業診断士、技術士等の専門家による支援を充実する。

また、新型コロナウイルス関連の支援等を受けた事業者に対してアンケート調査を実施し、経営課題に対するきめ細かい支援を行う。

加えて、急速に広がるデジタル化に対応するための相談窓口を設置し、中小企業等が生産性向上や販路開拓等にデジタル技術を取り入れていく上での課題整理やアドバイス等を行う。

|              |      |
|--------------|------|
| ・ 専門家派遣      | 72 社 |
| ・ アンケート調査    | 4 回  |
| ・ 実践型現場改善支援  | 8 社  |
| ・ オーダーメイド型支援 | 5 社  |

### 2 経営革新の支援

経営革新計画の承認支援（県委託事業）（予算額：16,499千円）

中小企業者等の作成した経営革新計画の県による承認をサポートするため、審査及び指導助言を行う。なお、計画策定企業の掘り起こしに際し、中小企業者等に対して付加価値向上やデジタル化の重要性についての的確な助言を行うことで計画作成を補助する。

また、革新計画終了企業のうち成果が顕著であり他の模範となる企業を表彰するなど、総合的な支援を実施する。

|            |       |
|------------|-------|
| ・ 審査及び指導助言 | 100 件 |
| ・ 経営革新企業表彰 | 1 回   |

### 3 事業継続力向上の支援

#### (1) B C P（事業継続計画）の策定推進（県委託事業）（予算額：1,371 千円）

新型コロナウイルス感染症による事業活動の停止等への対応策として、B C Pへの関心は非常に高まっているが、県内企業のB C P策定はあまり進んでいない。産業の強固な基盤づくりには、県内中小企業の事業継続能力の強化と信用力・企業価値向上支援が必要であり、中小企業のB C P策定を促すとともに、策定済みの企業もB C Pの見直し・ブラッシュアップする仕組みを構築、より実効性の高い計画の策定支援を行う。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・岡山県版B C P 認定制度  | 1 回 |
| ・B C P 普及・策定セミナー | 3 回 |
| ・B C P 訓練セミナー    | 3 回 |
| ・専門家派遣           | 5 社 |

#### (2) 簡易版B C Pの策定支援（県委託事業）（予算額：2,056 千円）

業種別・リスク別の簡易版B C P策定の手引き・ひな形を提供することにより、小規模事業者やB C P策定に後ろ向きな企業に対し、事業継続力向上に取り組むきっかけを提供し、B C Pの普及啓発を図る。

また、実際に事業者が策定するワークショップを業種ごとに開催し、B C P策定率の底上げを図る。

|            |     |
|------------|-----|
| ・普及セミナー    | 4 回 |
| ・実践ワークショップ | 7 回 |

### 4 事業承継による成長・拡大への支援

#### (1) 事業承継の取組みや課題解決を支援（県委託事業）（予算額：3,642 千円）

円滑な事業承継に向けて、後継者の不在や事業継続の不安等を解消するとともに、承継後の企業価値を向上させ、新事業開発やM&A等により企業の成長を支援するため、後継者や事業承継後の経験が浅い経営者を対象にしたセミナー・研修会を開催する。

また、本業の競争力強化等を支援するために専門家を派遣し、企業価値の向上を図り、事業承継を企業の成長に繋げていく。

|           |       |
|-----------|-------|
| ・事業承継セミナー | 1 回   |
| ・事業承継研修   | 2 コース |
| ・専門家派遣    | 30 社  |

#### (2) 後継者の育成（自主事業）（予算額：5,500 千円）

中小企業の後継者等を対象に、経営者としての意識づくりを促す「後継者育成塾」を開催し、経営者になるための基礎知識と塾生相互のネットワークづくりを支援する。また、修了生で構成する「吉備継成会」の活動を支援する。

## 5 働き方改革の支援

テレワーク導入等の取組支援（県委託事業）（予算額：3,013 千円）

テレワーク導入等の柔軟で働きやすい環境整備は、中小企業の人材確保のための重要な要素となっており、その導入に取組む中小企業の課題解決のため専門家による支援を実施、企業の経営基盤強化を支援する。

・専門家派遣 20 社

## 6 デジタル化の支援

（1）デジタル化の普及や人材育成支援（県委託事業）（予算額：9,989 千円）

通信技術の発達や新型コロナウイルス感染症等の影響により急速にデジタル化が進んでいるが、中小企業ではデジタルをどのように経営に取り入れていくべきなのかわからない、活用できる人材がいない等の課題がある。そこで、デジタル技術の有用性の周知や活用事例の紹介、先進的な取組みをしている企業の視察、ワーキンググループによる事例検討等を実施することで、中小企業のデジタル化を推進する。

・デジタル技術の有用性を周知するセミナー 3 回  
・先進的な取組企業の視察 2 回  
・ワーキンググループによる事例検討会 4 回  
・デジタル化を推進している企業の事例集作成 5 社

（2）デジタル技術の導入支援（県委託事業）（予算額：30,841 千円）

中小企業がデジタル化を進めるにあたって、何を導入すべきか、どのように経営に活かしていくべきか等の経営計画の策定および推進を支援する。また、計画に基づいた設備導入の一部を補助することで、中小企業のデジタル化を後押しする。

・設備導入費用の一部補助 50 社  
・専門家派遣 50 社

## 7 岡山県よろず支援拠点の運営（国委託事業）（予算額：185,304 千円）

本部及びサテライトオフィスにおいて、小規模事業者を中心とした来所及びWEB型の窓口相談を実施する。事業者の課題を分析し、解決策を提示するとともに、フォローアップを実施する。

金融機関、商工会議所、商工会等と連携し、相談者が来訪しやすい日時、場所での「出前よろず支援拠点」を実施する。

また、支援機関と連携して、成長志向の高い中小企業の掘り起しと伴走支援を実施する。

・セミナーの開催 12 回  
・支援機関や金融機関、自治体などが参加する会合の連携開催 1 回  
・成長を志向する企業へのチーム型支援 10 社

## 8 創業の支援

### (1) 起業家の人材育成の支援（県委託事業）（予算額：3,269 千円）

創業予定者や創業間もない者を対象に、各種相談への対応、経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識習得を目的とする研修会を開催するほか、男女共同参画センター内に設置された岡山県女性創業サポートセンターを情報のプラットフォームとし、各種相談に対応する。

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ・支援機関連絡会議の開催        | 3 回  |
| ・分野別ミニ創業塾／事業計画書作成研修 | 10 回 |
| ・創業セミナー             | 1 回  |

### (2) ベンチャー企業の育成支援（県委託事業）（予算額：4,228 千円）

成長が期待されるベンチャー企業を対象に、ハンズオン支援を行うとともに、ベンチャーキャピタルや金融機関とのマッチング会等を通じてビジネスパートナー等との出会いの場を提供し、事業発展を支援する。

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| ・インキュベーション施設による連絡会議の開催   | 3 回 |
| ・大学等と連携した起業家講演           | 2 回 |
| ・ベンチャーキャピタル、金融機関とのマッチング会 | 2 回 |

## 9 販路開拓・拡大支援

### (1) 新商品の販路開拓支援（県委託事業）（予算額：11,247 千円）

首都圏等新たな市場ニーズへの対応、メーカーや小売店等との接点を積極的に広げ、確実な販路開拓を図る。

- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| ・大都市圏での商談会開催                  | 1 回  |
| ・大都市圏での海外 B to B を想定した展示会出展支援 | 12 社 |

### (2) 県産品の販路拡大推進（県委託事業）（予算額：18,249 千円）

新型コロナウイルスにより落ち込んだ県産品の消費を喚起しながら、国内外の新たな市場への参入を進めるため、首都圏及び関西圏を中心に商談会の開催や展示会の出展等を支援する。

- |                      |      |
|----------------------|------|
| ・インターナショナルギフトショー出展支援 | 8 社  |
| ・商談会                 | 10 回 |

## 10 設備導入の支援

### (1) 設備貸与事業による設備投資の支援（割賦損料補助は県補助事業）

（予算額：599,444 千円）

中小企業等が希望する設備を財団が購入し、企業にリース又は割賦販売することにより、設備導入を支援する。設備貸与予算枠 8 億円の内 2 億円分については、5 年間を限度に損料を補助することで、創業者や経営革新に取り組む企業等を支援する。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ・新規のリース及び割賦販売枠 | 8 億円（うち 2 億円） |
|----------------|---------------|

(2) 小規模企業者等設備導入資金貸付事業費等補助金 (県補助事業)

(予算額 : 14,088 千円)

設備貸与先及び被災中小企業施設・設備整備支援事業における無利子貸付先に対し、巡回訪問等により経営状況の把握を行うとともに、正常償還に向けて必要な支援策を講じるなどの業務を行う。

1 1 被災中小企業施設・設備整備支援事業 (基金事業) (予算額 : 39,698 千円)

平成30年7月豪雨により被害を受け、グループ補助金の交付を受け施設・設備の復旧等を行う場合に自己負担部分への無利子貸付を行った岡山県内の中小企業者の債権管理業務を行う。

1 2 中小企業の競争力強化対策事業 (県委託事業) (予算額 : 699 千円)

経営革新資金の利用を希望する企業に対し、設備投資による収益性の向上が見込まれることについて財団が推薦 (新分野進出・新事業展開の取組等、生産性向上を目的とした設備投資) を行うことで、中小企業等の資金調達を支援する。

1 3 中小企業高度化事業に係る診断・助言 (県委託事業) (予算額 : 8,617 千円)

「中小企業高度化事業」を利用している協同組合等に対し診断・助言を行う。

- |             |     |
|-------------|-----|
| ・ 事後助言、運営診断 | 7 件 |
| ・ フォローアップ   | 3 件 |

1 4 中小企業高度化資金・近代化資金の債権管理電算データ保守管理 (県委託事業)  
(予算額 : 3,757 千円)

岡山県中小企業高度化資金及び岡山県中小企業設備近代化資金に係る債権管理データの管理、電算システムの保守に関する業務並びにこれら債権に附帯する業務を行う。

### Ⅲ コーディネート機能を発揮し新産業を創出（ものづくり支援部事業）

県内中小企業が、市場ニーズに応じた製品やサービスをより迅速に開発しタイムリーに市場に投入することができるよう、企業や大学などが有する開発ニーズや技術シーズのマッチングによる研究開発から販路拡大までの総合的支援を推進する。

特におかやまグリーン成長戦略を推進するため専属のコーディネーターを配置し、今後成長が期待される新たな分野での研究開発・製品開発を促進する。

また、全国大手メーカーに対して県内受注企業の優れた加工技術等を広くPRし、新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図る。好評を博した「おかやまテクノロジー展（OTEX）」を引き続き開催する。

#### 1 産学官連携の推進

##### （１）技術研究会の活動支援（基金事業・自主事業）（予算額：11,507 千円）

分野別技術研究会（岡山県食品新技術応用研究会、岡山県精密生産技術研究会、おかやまバイオアクティブ研究会、ハートフルビジネスおかやま）について、産学官連携のもと、研究開発活動や交流活動等を支援し、組織の活性化を図りながら、研究成果の発信と産業界での活用を目指す。

- ・講演会、シンポジウムの開催、先進事例視察などの活動支援

##### （２）異業種交流活動の支援（基金事業・自主事業）（予算額：2,220 千円）

岡山県異業種交流プラザ協議会（10 グループ・202 人）の活動をコーディネートし、会員相互の交流の促進や新事業創出の促進を図る。また、'82 岡山県技術交流プラザ、'84 岡山県技術交流プラザ、'91 岡山県技術・市場交流プラザの活動支援を行う。

- ・特別セミナーの開催 1 回
- ・「プラザのつどい」の開催 1 回

#### 2 研究開発の支援

##### （１）きらめき岡山創成ファンド（県補助事業）（予算額：79,000 千円）

新技術・新製品の研究開発を助成することにより、県内企業の成長を支援する。また、自動車関連サプライヤーの既存技術のEV対応のための研究開発を支援する。

- ・採択 9 件（うちEVシフト対応 2 件）

(2) 戦略的基盤技術高度化支援事業 (国補助事業) (予算額: 25,959 千円)

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、鋳造、鍛造、切削、めっき等の中小企業のものづくり基盤技術の高度化について、革新的でハイリスクな研究開発から試作段階までの取組を支援する国の補助事業を活用して、以下の研究開発を推進する。

- ・熟練者の経験知からスマート工場化を実現する切削工具管理システム (A I ツールソムリエ) の開発フレキシブルエレクトロニクスの量産化に向けた耐久試験装置の高度化

(3) 次世代産業育成事業 (県委託事業) (予算額: 7,830 千円)

今後市場の拡大が見込まれる新エネルギー関連分野・次世代エレクトロニクス関連分野・人工知能、I o Tなどいわゆる第4次産業革命関連分野等の次世代産業分野への県内企業の参入促進を図る。

また、製品・技術開発を加速化するためには、自社内だけのリソースだけでは対応困難であり、社外の技術を活用するオープンイノベーションの活用が効果的であることから、コーディネーターにより県内企業の課題やニーズを把握し、企業間連携やユーザ企業とのマッチング等の事業化に向けた支援を行う。

- ・技術セミナー・ニーズ等発信会 3回

(4) おかやまグリーン成長支援事業 (県委託事業) (予算額: 17,766 千円)

カーボンニュートラルの実現に向けた動きを県内企業のビジネスチャンスにつなげるため、セミナーによる情報提供や専門家を招いての勉強会等による成長分野別コンソーシアム育成促進、さらに専属コーディネーターによりコンソーシアム運営支援や各種補助金の伴走支援等により、成長が期待される新たな分野での研究開発・製品開発を促進する。

また、県内企業に対しグリーン成長に関わる技術動向の提供や支援制度の紹介を行い、産学官連携によるニーズ・シーズのマッチング等による新技術・新製品の開発に向けた支援を行う。

- ・グリーン成長セミナー 2回

(5) 研究開発促進事業 (県委託事業) (予算額: 8,031 千円)

コーディネーターを設置し、イノベーションに挑戦しようとする企業のニーズを捉え、研究開発から販路開拓の各段階で適切なアドバイスや専門家の派遣、産学金官や企業間の連携調整を行い、研究開発の促進体制を強化する。また、国、県等の競争的資金の説明会を開催し、広く周知するとともに、申請前から採択に至るまで伴走支援し、県内企業のイノベーションを売上げに結実するまで支援する。

- ・研究開発等の企業支援制度説明会の開催 年1回

(6) 高付加価値加工技術支援事業（県委託事業）（予算額：3,481 千円）

グリーン成長分野で要求される高付加価値な加工技術（超高精度加工、高品位加工、微細加工）に対応するための市場動向セミナーや技術セミナーを開催する。

- ・市場および技術動向セミナー
- ・先進企業等への見学会

(7) 技術振興事業（基金事業）（予算額：6,200 千円）

ものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進するために、研究開発や経営革新等、業種転換を進める中小企業の総合的な支援を行うことにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図る。

- ・若手研究者の研究の助成 5 件

(8) 自動車産業発展支援事業（県委託事業・自主事業）（予算額：24,281 千円）

「CASE」など、自動車産業における開発環境は現在もめまぐるしく変化し、次世代技術の開発状況を把握し、速やかに対応することが重要である。また、新型軽自動車の生産が開始されたが、日産自動車が求める調達基準（経営規模、品質保証、生産規模）を満たせず、一次から二次取引先になった企業や失注した企業もあるなど、受注競争が激化しており、取引先の維持及び新規獲得のための提案型の技術開発が必要である。さらに日産系列の部品サプライヤーの参入などにより、価格競争が激しくなっており、継続的に生産性を向上していくことも必要である。これらの取組を岡山県自動車関連企業ネットワーク会議と連携し、引き続き支援していく。

- ・新技術提案の支援 2 回
- ・ニーズ発信セミナー開催 2 回
- ・共同研究等の推進
- ・岡山県自動車関連企業ネットワーク会議の運営

(9) サプライヤー販路拡大支援事業（県委託事業）（予算額：21,474 千円）

世界的なEVシフトが加速する中、EVの開発製造に向け各自動車メーカー等はサプライチェーンの大幅な見直しを実施している最中であることから、県内サプライヤーにとって、新たな取引先確保の好機であると考えられる。そこで、多様なマッチング機会を創出し、県内サプライヤーの販路拡大を後押しすべく、展示会への出展支援及び合同商談会を開催する。

- ・展示会出展等による開発成果のPR 2 回
- ・合同商談会 1 回

(10) EV関連技術対応促進事業（県委託事業）（予算額：25,247 千円）

EVでは、従来車に比べ部品総点数が、1/3 減少するが、EV 関連技術に十分対応できる企業はほとんどなく、新技術・新製品の開発が急務となっていることから、県内自動車関連企業が、EV の普及により新たに必要となる部品の製造や技術に対応できるよう、EV の情報発信セミナーや、専門家派遣を実施し、企業の技術開発を後押しする。

また、世界的な脱炭素の流れの中、走行時のCO<sub>2</sub>のみならず、発電・製造から廃棄まで含めた環境負荷の評価（LCA）の重要性が増している。特に欧州では、環境負荷が高い製品への輸入制限の検討が進んでおり（LCA規制）、自動車製造におけるサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>排出削減への対応が必要となることから、県内サプライヤーへのLCA手法の導入支援及びEVの構造研究を実施する。

- ・ 経営者向けセミナー開催 1 回
- ・ 実務者向け研修 3 回
- ・ EV の構造研究等 1 回
- ・ 情報発信セミナー開催 1 回
- ・ EV 技術開発企業への専門家派遣

(11) 自動車関連人材等育成事業（県委託事業）（予算額：4,379 千円）

急激なEVシフトなど、自動車産業における経営環境はめまぐるしく変化しており、EVに用いられる新技術等への対応や、EVシフトによる部品減少等を踏まえた異業種への展開の必要性が増している。一方、県内サプライヤーは研究部門が脆弱なうえ、研究を推進する人材が乏しい状況にあるため、新技術・新製品の開発が進まない状況にある。そこで自動車メーカーに勤務経験がある自動車コーディネーターが中心となり、技術開発を推進する人材を育成する。

- ・ 開発企画研修 6 回
- ・ 実地研修 6 回

(12) 自動車関連企業の異業種展開・企業間連携支援事業（県委託事業）

（予算額：10,190 千円）

EVは、従来車に比べ部品総点数が1/3減少するが、特に、内燃機関係部品（エンジン、マフラー等）を製造するサプライヤーにとっては、自社製品のニーズが極端に減少する。こうした状況の中において、県内サプライヤーは新たな分野に挑戦し、経営の多角化を図ることが不可欠であることから、異業種展開支援を実施する。

また、異業種への展開やEV関連の製品・技術の開発においては、限られたリソースの効率的な活用や捕完を図るための他社との連携や役割分担が必要である。そのため「岡山県自動車関連企業ネットワーク会議」の活動を支援し、県内サプライヤーの連携促進を図るため、企業間連携支援事業を実施する。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| ・事例紹介セミナー             | 1回 |
| ・ワークショップ研修            | 5回 |
| ・ハンズオン支援              |    |
| ・異業種分野への進出に関わる展示会出展支援 |    |

3 ものづくり企業の生産性向上、成長の推進

(1) グッドデザインものづくり推進事業（県委託事業）（予算額：701 千円）

デザイン戦略を有効に活用して自社製品を開発・展開している企業や、デザイナー・クリエイター等による事例発表を実施し、デザインを効果的・効率的に運用して企業や商品のブランド力を高めること等をテーマにしたセミナーを開催し、企業の意識啓発を行う。

- ・ものづくりデザイン活用セミナーの開催

(2) 中堅企業成長支援モデル事業（県委託事業）（予算額：25,213 千円）

優れた技術や旺盛な経営革新意欲など潜在的な成長力を有する県内中小製造業者を対象に、プロジェクトマネージャーを中心とした支援チームによる伴走支援を行う。また、これまでの身近な成功事例を広くPRすることにより、製造業全体にマーケティング等に取り組む機運の醸成を図る。

- |                |    |
|----------------|----|
| ・支援チームによる専門的支援 | 5社 |
| ・継続的フォローアップ    |    |
| ・取組成果の周知等      |    |

#### 4 産業クラスター計画の推進

##### (1) 循環型産業クラスター計画の推進（県委託事業）（予算額：18,333 千円）

産業廃棄物を循環資源として活用する新技術・新商品の開発等により、県内環境産業の振興を図ることを目的として、中四国環境ビジネスネット（B－n e t）を設置し、産学官の連携により、中四国地域を視野に入れた広域でのビジネスマッチングやセミナーの開催など、県内事業者の環境負荷対策と経済活動の推進との両立を支援していく。

また、プロジェクト会議を開催し、循環型産業の振興に向けて、専門家等の指導や助言、関係企業による先進的事例の考察、3 R推進員等との意見交換など様々な方法で、県内企業等による新規プロジェクトの創出に繋がる活動・研究を行う。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・ B－n e t フォーラムの開催   | 1 回 |
| ・ プロジェクト会議の開催        | 3 回 |
| ・ 全国規模展示商談会への出展      | 1 回 |
| ・ 地域ミニエコタウン事業承認審査委員会 | 2 回 |

##### (2) 晴れの国 C N F 連絡会運営事業（県委託事業）（予算額：5,541 千円）

連絡会により、県内外の企業、公設試験研究機関、国立研究開発法人及び高等教育機関と岡山県の相互間の連携を通じて、C N F 及び C N F 利用製品の実用化に向けた研究開発の推進、人的ネットワークの拡充、企業間のマッチング、勉強会による様々な課題の検証及び国内外の最新動向等の情報共有を図る。

|            |     |
|------------|-----|
| ・ フォーラム等開催 | 2 回 |
| ・ 勉強会開催    | 4 回 |

#### 5 岡山リサーチパークの周知活動（基金事業・県委託事業）

（予算額：7,779 千円）

##### (1) 小中学生（家族）向け一般公開

岡山リサーチパークを中心とした研究活動を一般に公開することで、広く県民に存在を周知するとともに、新技術のすばらしさ、科学技術の重要性の認識を目的に、主に小中学生を対象とした日頃体験できない科学技術の発見・感動の場を提供する。

##### (2) 岡山リサーチパーク研究展示発表会開催事業

岡山県内研究者の技術シーズをテクノサポート岡山にて公開することで、県内研究者と県内企業とのマッチングを進める。

## 6 大学と連携した地域産業の支援

大学と連携した地域産業振興事業（県委託事業）

（予算額：50,848 千円）

大学などの高等教育機関の知の活用により、新たな技術課題に対応しながら成長・発展を目指し、中小企業を中堅企業へと押し上げていくため、県内の企業と大学との連携を組織的にコーディネートする拠点「岡山県 企業と大学との共同研究センター」を岡山大学内に設置、企業と大学とのマッチングや県内企業の技術開発力等の向上に向けた包括的なコーディネート支援を行う。

- ・大学研究室学生の共同研究先企業への派遣
- ・産学連携スタート補助金
- ・企業と大学との縁結び事業の開催
- ・産学官連携セミナーの開催
- ・コーディネーター情報交換会の開催

## 7 下請企業の取引あっせん

（１）取引情報の収集提供（県補助事業）

（予算額：111,041 千円※（１）～（３）の合計額）

県内及び県外発注企業の案件を発掘し、県内中小企業等の優れた加工技術を県内外発注企業に広くＰＲし、新規取引先の開拓支援を行うことで、下請企業の取引あっせんに努める。

また、県内中小企業等の業種別又は加工技術別ガイドブックを作成し、県内外の発注企業への提供、全国の見本市等で配布により、県内下請企業の新規取引先の開拓、広域的な受注機会の拡大を図る。

（２）国内商談会等の開催（県補助事業、自主事業）

県外発注企業を岡山県に招聘し県内中小企業等との面談を行う商談会の開催や、全国規模の見本市への出展、本社・工場等が集積している大都市圏へ発注案件に適合する県内中小企業と出向き商談を行う現地商談会等の開催により、新規取引先の開拓支援を図る。

- |                                           |             |
|-------------------------------------------|-------------|
| ① 広域商談会の開催（岡山）                            | 1 回         |
| ② 中国ブロック合同商談会の開催（兵庫）                      | 1 回         |
| ③ 大都市圏企業との現地商談会の開催<br>（東京、愛知、大阪、広島、福岡、熊本） | 6 回         |
| ④ 大都市圏企業とのオンライン商談会の開催<br>（関東、関西）          | 2 回         |
| ⑤ 地域見本市等への出展（神奈川、兵庫、福岡）                   | 3 回         |
| ⑥ 個別商談会の開催                                | 5 回         |
| ⑦ サポーターズ・ミーティング（東京、大阪）                    | 2 回（一部自主事業） |

(3) オンラインによる下請け取引支援事業（県補助事業）

広域専門調査員を関東、東海、関西、九州の4拠点に配置し、発注案件の情報収集を行い、県内受注企業とのオンライン商談会を随時開催し、販路拡大を支援する。

(4) 航空機関連産業の誘致推進支援（県委託事業）（予算額：3,039 千円）

県内企業の航空機分野への進出や展示商談会出展を支援することにより、航空機関連企業に対して、県内企業の技術力や立地環境をPRし、航空機関連企業の誘致を推進する。

・エンジンフォーラム神戸 2022 への出展

(5) おかやまテクノロジー展開催事業（県委託事業）（予算額：64,569 千円）

県内ものづくり企業の一層の販路拡大に取り組むため、県下ものづくり企業等を一堂に集め、その優れた精密加工技術力及び技術開発力を県内外のメーカー等に向けてPRを行う「第7回おかやまテクノロジー展」（オンライン展示会を含む）を開催する。

8 岡山県内中小企業の景況調査（県委託事業）（予算額：887 千円）

県内中小企業の景況状況を定期的に把握するため、年間4回（5月・8月・11月・2月）、対象企業750社に対しアンケート調査を実施し、調査報告書を作成する。

9 下請かけこみ寺（相談・ADR業務）事業（民間委託業務）

（予算額：159 千円）

中小企業が抱える取引上の様々な悩み等を円滑に解決するため、「下請かけこみ寺」を設置し、相談及び必要な経費等の管理を行う。

10 岡山県自立化推進研究会等の活動支援（自主事業）（予算額：2,407 千円）

県内の中堅下請企業で構成する「自立化推進研究会」（4グループ75社）及び異業種交流・共同受注グループ（3グループ50社）の活動を支援する。

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ① 90 岡山県自立化推進研究会 | 例会 6 回 |
| ② 92 岡山県自立化推進研究会 | 例会 6 回 |
| ③ 94 岡山県自立化推進研究会 | 例会 5 回 |
| ④ ウイング岡山 21      | 例会 5 回 |
| ⑤ トラストネット未来      | 例会 3 回 |
| ⑥ ウイングウィン岡山      | 例会 6 回 |
| ⑦ メディカルネット岡山     | 例会 4 回 |

1 1 知的財産を活用したものづくりの推進

(1) 知財総合支援窓口運營業務（国委託事業）（予算額：38,737 千円）

「岡山県知財総合支援窓口」を設置し、中小企業等が企業経営の中で抱える知的財産に関する悩みや課題について、窓口支援担当者が相談に応じ、知財専門家等を活用して課題解決を図る。

(2) 中小企業外国出願補助金（国補助事業）（予算額：8,191 千円）

中小企業が知的財産活動の海外展開支援の一環として産業財産権に係る外国出願に要する経費の一部を助成する。

(3) 地域中小企業外国出願支援事務事業（県補助事業）（予算額：550 千円）

県内中小企業から外国出願補助金制度の活用に係る相談や補助金申請の受付および交付等の事務手続きを行う。

#### IV 国等のプロジェクト支援（プロジェクト推進部事業）

岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点とは、民間人材ビジネス事業者と連携し、プロフェッショナル人材の活用による攻めの経営や生産性の向上を支援する。

また、岡山県中小企業再生支援協議会、岡山県経営改善支援センター及び岡山県事業承継・引継ぎ支援センターの活動を通じて、企業再生、経営改善、更には事業承継の促進に努める。

##### 1 プロフェッショナル人材の活用（県委託事業）（予算額：57,856 千円）

県内中小企業の「攻めの経営」や改善への意欲を喚起するため、特に金融機関と民間人材ビジネス事業者の連携プロジェクトを推進し、プロフェッショナル人材の活用による企業の経営革新の実現を促す。また、副業兼業人材活用の機運を醸成する。

・協議会の開催

4 回

##### 2 中小企業等の再生支援

###### （1）中小企業再生支援協議会による再生支援（国委託事業）

（予算額：93,126 千円）

経営環境の悪化しつつある中小企業等に対し、各地域の関係機関や専門家が連携して、きめ細かに事業再生を支援することにより中小企業等の活力の再生を図る。

特に新型コロナウイルスの影響で業況が悪化した事業者の当面の資金繰りを支援する。

###### （2）経営改善支援センターによる経営改善支援（民間委託事業）

（予算額：94,574 千円）

借入金の返済負担等、財務上の問題を抱えていて金融支援が必要な中小企業等が、「中小企業等経営強化法」に基づき認定された認定支援機関に経営改善計画の策定を依頼した際に発生する「計画策定費用」及び「フォローアップ費用」の一部を費用負担し、経営改善・事業再生を支援する。

###### （3）事業承継・引継ぎ支援センターによる事業承継支援（国委託事業）

（予算額：124,859 千円）

経営者が高齢等で事業の存続に悩みを抱える中小企業等や、これら経営資源を引継ぐ意欲のある中小企業等の相談に幅広く対応するため、第三者承継と親族内承継の支援を統合し、事業の譲渡や承継等に関して適切な助言・情報提供及びマッチング支援等を行い、事業承継を総合的に推進する。また、経営者保証ガイドラインに基づく経営者保証解除に向けた支援にも取り組む。

## V 産業人材の育成と情報化支援等（総務部事業）

### 1 産業人材の育成

#### （１）ものづくり人材に必要な人材育成（県委託事業）（予算額：5,600 千円）

自動車産業をはじめとした県内製造業がグリーン化・デジタル化など急速に変化する市場環境に対応すべく実証講義の開催や企業視察を実施し、新技術等効率的に事業化することのできる人材育成を支援する。

|       |        |
|-------|--------|
| ・実証講義 | 20 コース |
| ・セミナー | 1 回    |
| ・企業視察 | 1 回    |

#### （２）産業人財育成事業（県委託事業）（予算額：15,017 千円）

中小企業の経営者から若手社員までを対象とした階層別研修のほか、経営管理・労務・営業・生産・技術など分野別研修を実施するとともに急速に進むデジタル化に対応できる人材を育成し、県内中小企業のデジタル化への意識の全体的な底上げやDXの着実な進展を支援する。

|              |        |
|--------------|--------|
| ・産業人材育成研修の開催 | 46 コース |
|--------------|--------|

#### （３）新入社員の育成（自主事業）（予算額：1,275 千円）

中小企業に採用された新入社員を対象に、社会人としての心構えやルールを身につけるための、合同研修を行う。

|                    |     |
|--------------------|-----|
| ・新入社員合同研修、合同入社式の開催 | 1 回 |
|--------------------|-----|

#### （４）マネジメントシステム担当者の養成支援（自主事業）（予算額：731 千円）

ISO9001品質マネジメントシステムに関するセミナーを行い、企業のマネジメントシステムの構築維持を支援する。

### 2 グローバル人材の育成・確保

#### （１）日本人留学生の人材育成支援（県負担事業、民間寄付事業）

（予算額：18,091 千円）

県内の大学に在籍し、自身の課題をチャレンジ精神と行動力で遂行し、留学先での交流や様々な実践活動を行う日本人留学生に奨学金を交付するとともに、県内企業へのインターンシップを通じて、地域に貢献したいという志を持つ人材を育成し、グローバル化を進める県内企業への就職に繋げる。

- ・日本人留学生への奨学金の支給
- ・県内企業へのインターンシップ支援

(2) アジア人留学生を活用した海外展開支援(自主事業) (予算額:10,649 千円)

県内の大学に在籍しているアジアからの留学生をビジネス人材として育成・確保することにより、県内中小企業等の海外における事業展開を支援する。

具体的には、県内中小企業者へのインターンシップ、就職マッチング、奨学金の給付、情報発信等を行い、総合的な支援を行う。

- ・アジア人留学生への奨学金の支給
- ・インターンシップ情報の収集・提供
- ・県内中小企業等とアジア人留学生との就職マッチング
- ・情報発信

(3) 留学生の県内企業への就職促進、確保支援(県委託事業)

(予算額:5,810 千円)

留学生向けのセミナーや企業交流会を開催し、留学生の県内就職促進に向け、留学生の就職支援や県内企業とのマッチング機会の充実を図る。

- ・留学生等を対象とした就職支援セミナー 2回
- ・県内企業を対象としたセミナー及び留学生等との交流会等の開催 2回

3 おかやま産業情報の発行等(自主事業)

(予算額:9,396 千円)

財団賛助会員等に対し、財団の実施する事業や県内企業向けの各種施策等について情報提供する「おかやま産業情報」を発行することにより、財団活動の広報を行うとともに経営の一助としてもらう。

- ・おかやま産業情報の発行 年6回発行(28ページ 4,000部)

4 中小企業の情報化支援

(1) 中小企業のIT支援(基金事業)

(予算額:11,047 千円)

テレワークの実施、WEB会議ツールの導入等IT環境が激変している中、中小企業のITに対する理解を深め、生産性向上、DX推進につながる講習会を開催する。また、中小企業の課題とされているIT人材の育成や中小企業者からの情報化に関する各種相談や情報提供を行う。

- ・ITセミナー、講習会の開催 7回

(2) 岡山県産業支援ネットワークの運営(県補助事業)

(予算額:9,584 千円)

県内中小企業者のIT対応を促進するために、情報ハイウェイを活用した岡山県内の産業情報の発信拠点(ポータルサイト)を整備・運営し、県内企業情報等のデータベースの構築を図るとともに、有益なイベント情報、各種支援施策等を発信する。

5 テクノサポート岡山の施設管理（県委託事業、県指定管理事業）

（予算額：45,017 千円）

「テクノサポート岡山」の管理者として、施設内の技術情報ライブラリー、展示室、会議室等の管理運営を行う。